



2022年1月31日

各位

会社名 日本精工株式会社
代表者名 代表執行役社長 市井 明俊
(コード：6471 東証第一部)
問合せ先 執行役常務財務本部長 鈴木 啓太
(TEL 代表 03-3779-7111)

通期業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年11月1日に公表した2022年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。また、当第3四半期連結会計期間において、固定資産の減損損失を計上しましたので、お知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2022年3月期 通期連結業績予想数値(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	860,000	44,500	44,000	30,000	58.51
今回修正予想(B)	860,000	30,000	30,000	19,500	38.03
増減額(B-A)	—	△14,500	△14,000	△10,500	—
増減率(%)	—	△32.6	△31.8	△35.0	—
(ご参考)前期実績(2021年3月期)	747,559	6,364	5,889	355	0.69

(2) 修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は、工作機械や半導体向けなど設備投資関連需要は堅調に推移しているものの、半導体等部材の供給不足による自動車の減産、原材料価格や輸送費用などのコスト上昇を見込んでおり、営業利益以下の各利益について前回発表予想を下回ることを想定しています。また下記2.に記載のとおり、当第3四半期連結会計期間において固定資産の減損損失を計上しました。

これらを踏まえた結果、2021年11月1日に公表した2022年3月期通期連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)につきまして、上記のとおり修正します。

2022年1月1日から2022年3月31日までの期間における想定為替レートは、1米ドル114円、1ユーロ130円、1中国元17.8円を使用しています。

なお、今回の連結業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

2. 固定資産の減損損失の計上

自動車部品事業にて、事業環境の変化により想定された収益が見込めなくなった有形固定資産及び無形資産につきまして、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し当該減少額を減損損失として、当第3四半期連結会計期間に約90億円計上しました。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料の作成時点における経済環境や事業方針など一定の前提に基づいて作成しています。従って実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

以上